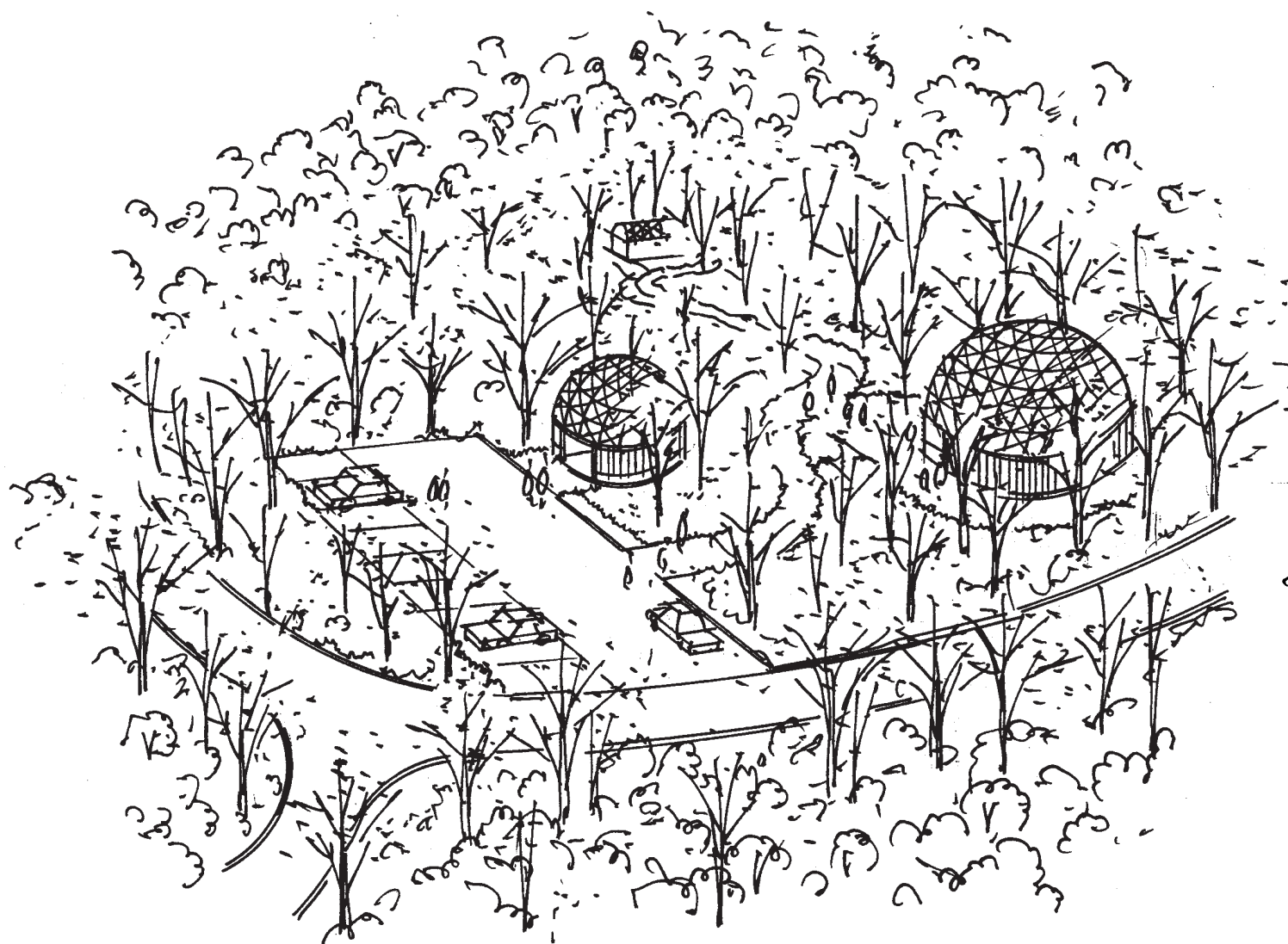


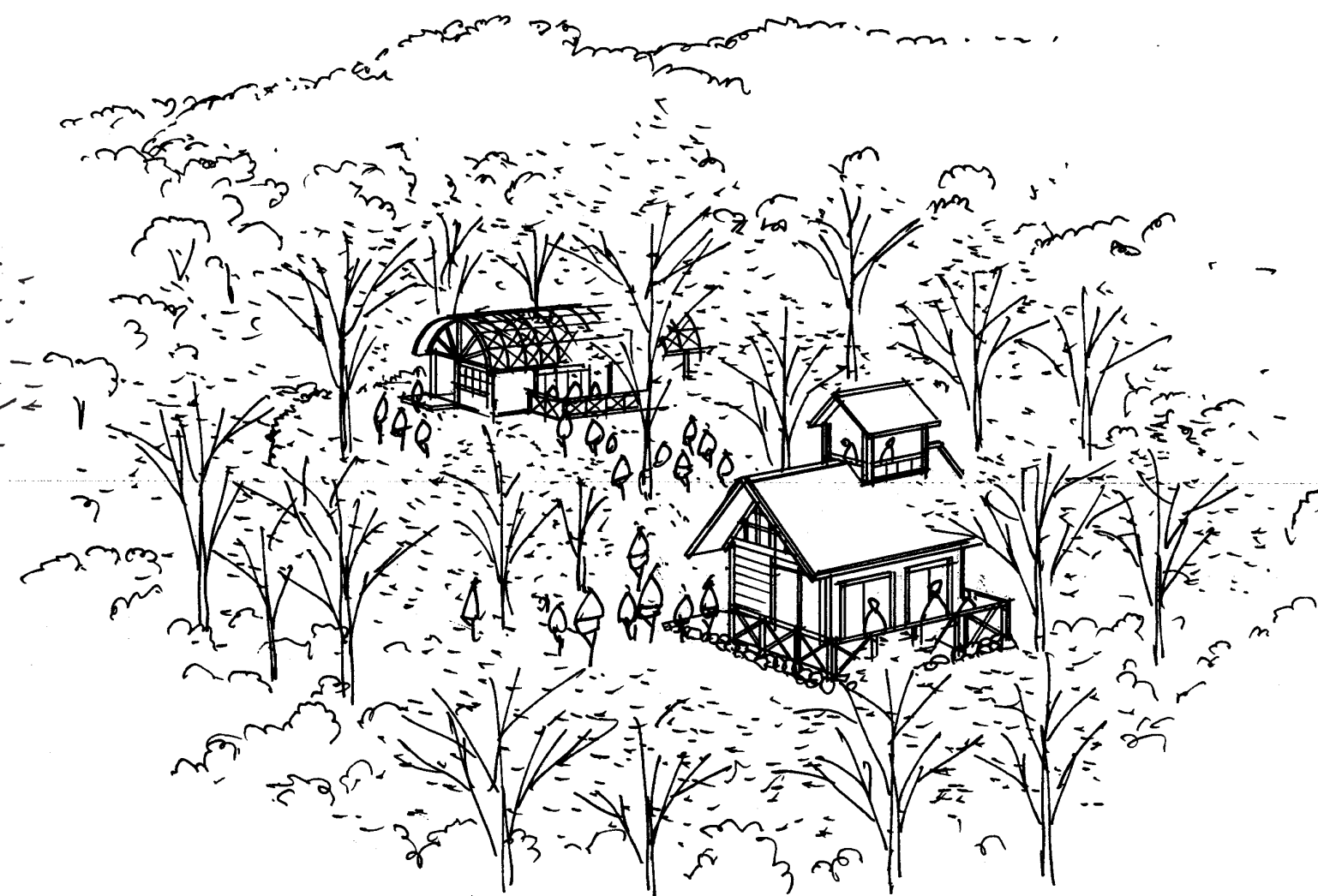
■ 敷地内土場の自然環境復帰イメージ計画

※各イメージ計画は、予算等により整備実施可否の調整が必要であり、全て実現するというものではありません



●自然学習ゾーンイメージ計画

- ・土場を雑木林に自然復帰し、自然学習ゾーンとして整備
- ・学習ゾーン入口付近にはパーキング（数台）やW. C棟計画
- ・散策道は地道にて計画
- ・学習、研修の為の多目的交流棟を計画
- ・W. C棟や交流棟は間伐材利用トラス工法等により、地域材の活用を計る



●自然学習ゾーンイメージ計画

- ・地域自然生態を考慮し、クヌギ、カシ、ナラ等の果木を植え、小鳥や昆虫、小動物の観察エリアを計画
- ・観察小屋や学習棟は木造とし、在来工法や間伐材利用トラス工法等により、地域材活用を計る
- ・自然観察だけでなく、植林や下草刈り等自然に関する作業体験を行う為の、管理運営体制を組織計画